

# 聞きたい

第1回定例会の一般質問は、3月6日～9日の4日間で行われ、20名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第1回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、5月下旬から、市ホームページ（PDF版は5月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。



本会議の進行を務める篠宮正明議長

## 市として子どもの権利条例を

鴨志田 芳美  
(日本共産党)



**質問** 子どもの権利を守る、保障する、大事にするということを示す意味でも、市として子どもの権利条例を制定すべきと考えるが、見解を伺う。

**市長** 条例制定については、国や都の動きを注視していきたいと考えている。子どもたちの意見交換を含め、声を聴かせていただいたことは大変有意義であった。このような経験も踏まえて、東久留米市で育つ子どもたちが健やかに成長することを願っている。

**質問** 学校給食費の負担が大きいという声がある中、清瀬市のように、限定的にでも無償化するという考えは、市長 給食食材費については、一定の制度の下で、生活に困難を抱えている方々への支援メニューがある。子育て世帯からのさまざまなご要望に対してどう応えていけるか、子どもたちにとっていった支援を行えるかを主眼に置いて判断していきたい。

## 気候危機、温暖化対策の実行を

北村 龍太  
(日本共産党)



**質問** 東久留米市第四次地球温暖化対策実行計画において、ゼロカーボンエネルギー導入の数値目標を設定するべきと考えるが、市の見解は。

**答弁** 令和4年8月に、地球温暖化対策、減災レジリエンス、都市型施策としての事業構築と展開の3つの焦点を横串して「東久留米市における脱炭素化・再生可能エネルギーの利用に向けた最適化の基本的考え方」を取りまとめ、企画経営室を中心とし、これに沿った太陽光発電のPPA事業の調査・研究を進めている。

**質問** 三角山バス停の安全性についての認識は。

**答弁** バス事業者が、安全確保のための注意喚起を実施するとともに、移設を含めた交通管理者等との協議を行っていることは把握している。本バス停留所の安全確保等について、引き続き動向に注視していく。

## 医療的ケア児の受け入れに前進

梶井 琢太  
(未来政策フォーラム)



**質問** 市が令和5年2月に策定した医療的ケア児受入方針の概要は。

**答弁** 保育所、小中学校、学童保育所、児童発達支援センターでの受け入れに基本的事項を定め、対象施設でガイドラインの策定等を行うとした。

**質問** ①保育所、②小中学校でのガイドライン策定と受け入れ整備状況は。

**答弁** ①私立園長会や小規模保育施設、家庭的保育施設の代表者等で構成する市医療的ケア児（保育）検討会議で受け入れスキームを検討中、②就学相談や幼稚園・保育園からの情報でケアを要する児童の入学が分れば、保護者、学校長、指導室及び学務課の職員でケース会議を開き、受け入れ体制を検討する。訪問看護ステーションの看護師などが医療行為に当たる。現在、訪問看護ステーションとの打ち合わせや、医療的ケア児が入学予定の小中学校でケース会議を進めている。

## デマンド型交通はどうなるのか

佐藤 一郎  
(未来政策フォーラム)



**質問** デマンド型交通は来年度、実験運行の方向性について検討することだが、どのような検討をするのか。

**答弁** 実験運行については、令和4年12月より午前9時に利用者が乗車できるように運行時間を変更し、利便性の向上に努めてきた。令和5年度は、これまでのさまざまな視点から見た利用実績やアンケート結果等を踏まえ、判断すべき指標を設定し、できるだけ早い時期に1回目の地域公共交通会議を開催し、今後に向け設定した指標の考え方や利便性向上に向けた運行計画の見直し等について説明させていただきたい。その後、一定期間検証を行い、当該検証結果を踏まえ、運行計画の見直しも含めその後の方向性について検討を行った上で、2回目の地域公共交通会議を開催し、指標に基づいた検証結果とその後の方向性の検討結果等について説明していきたい。

## 新時代を切り開く情熱改革派の決意

宮川 豊史  
(久留米ハートネット)



私はこれまで5期20年間、政党に所属しない、特定の組織団体の利益も代表しない無党派無所属100%市民派として議員活動してきた。私が東久留米市議会議員である限りこの立場を貫く。私が初当選した直後、目が見えないのに質問できるのかと思われたが、今では目が見えなくても質問するのが当たり前となり非常に有り難い。この東久留米市を将来の子どもたちに引き継ぐために、ありったけの情熱を注ぐ決意。今回の富田市長の施政方針は丁寧でわかりやすくとても良かった。上に立つではなく前に立つというのも富田市長らしい。ただ改革は不十分と思うが、今回の予算編成では千円単位での削減をしている。子どもたちへの投資も直接的な改革ではないが、その子どもたちが大人になった時に改革の意識を持ってまちづくりに参加してくれるのではない。

## 「あんしんして暮らせるまち」とは？

中野 淳子  
(市民とともに歩む会)



**質問** 65歳になった障害をお持ちの方が障害福祉サービスから介護保険制度へ移行するに当たり支給量が減るので、という心配があるが、厚生労働省の通達を踏まえた市の対応は。

**答弁** 原則、介護保険優先ではあるが、一律に移行することせず、利用者の意向を伺い、必要とする支援を受けることが可能か判断している。

**意見** 障害をお持ちの方に不安を持たせることのないよう、当事者の気持ちに寄り添った対応をお願いしたい。

**質問** 駅西口富士見テラスは「関東の富士見百景」に選ばれているが、その景観保全の取り組みについて伺う。

**答弁** 駅からの富士山の眺望に配慮し、建築物等の用途の制限や高さの最高限度、形態および色彩等の制限を定め、景観の保全に努めている。  
**意見** 今後もその景観を守ることに注いで検討していただきたいと思います。

## 安全あんしんまちづくり！

当麻 一哉  
(自民クラブ)



**質問** 施政方針でも示された地方再犯防止推進計画策定に向けた考え方について伺う。

**答弁** 地域福祉計画（第4次改訂）に包含する形で、市の社会福祉審議会が審議いただくほか、保護司会のご意見や市民のご意見等もいただきながら、他自治体の計画内容も参考として計画を策定していく。

**質問** 「ブラック・ジャック」のマンホール蓋の設置が令和5年度予算に提案されている。地域振興につながる非常に取り組みと考えるが、今後の取り組みについて伺う。

**答弁** この取り組みを通じ、市に興味を持ち、市を訪れる方が増えることで、商店や商店街への効果も期待される。PRイベントや事業者からの関連商品の開発に必要な協力を行うなど、効果が高まるような取り組みを推進し、地域振興につなげていく。

## 市庁舎の電力消費の抑制について

島崎 孝  
(自民クラブ)



**質問** 光熱水費が大きく伸びているので、本市の電気料金の抑制を図ることが課題。平成23年の東日本大震災時、市の節電の取り組みについて伺う。

**答弁** 市では東久留米市庁舎節電行動計画を策定し、本庁舎の室内設定温度の適正化やエレベーターの停止、執務室で使用する蛍光灯の消灯、リフレックスルームの電気製品の使用停止などを実施した。

**質問** 震災時から現在に至るまでの取り組みの成果について伺う。

**答弁** 照明のLED化、個別空調のエネルギー効率の高い機器への更新等により、平成23年度の電気使用量が約20万kWhであったに対し、令和3年度は約10万kWhとした。来年度以降は、再生可能エネルギーを使用した非常用電源設備により自家発電を実施する予定であり、省エネと創エネの双方により電気使用量の削減を図る。

## 不登校児童へ、きめ細かい支援を！

高橋 和義  
(公明党)



**質問** 5年度からわくわく健康プラザに小学生を対象とした学習適応教室が開設されるが、今後の展望を伺う。

**答弁** 5年度は小学校高学年を対象として学校に行くことができない児童を受け入れ、個別の学習指導に加え、子どもたちの状況に応じた集団指導や体験活動も取り入れていく予定である。

**要望** 「学習適応教室」という名称については、子どもや家族の意見も聞き、改称も検討してほしい。

**質問** 強盗窃盗事件が相次いで発生する中、防犯対策として自治会や商店街などへの防犯力メー増設の際の都の補助があることを把握しているか。

**答弁** 都の地域における見守り活動支援事業は、町会や自治会等が行う防犯設備等の整備に係る経費の一部を補助する事業であり、今後、他団体の同事業の状況についても、関係部署と連携し、情報収集・研究していく。

## 生活者に寄り添う施策の検討を

沢田 孝康  
(公明党)



**質問** 性被害や生活困窮、家庭関係の破綻などの困難な問題を抱える女性に多様な支援を包括的に提供するため、昨年5月に成立した困難な問題を抱える女性への支援に関する法律を受けての市の対応について伺う。

**答弁** 市男女平等推進センターで、女性弁護士による法律相談や女性力アップセミナーによる女性の悩みごと相談など、東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センターなどの関係機関とも連携を図りながら、女性への支援を行っている。来年度を期とする男女平等推進プランで引き続き取り組んでいく。

**質問** 带状疱疹ワクチン助成についてその後の進捗は。

**答弁** 多摩地域の各自治体の状況については、実施している自治体が1団体、実施検討中が10団体、令和5年度実施予定が9団体となっている。引き続き、他市の状況を注視していく。